

発行者：食育のふるさとさかだにをよくする会  
発行日：令和3年11月1日

# さかだに瓦版（かわらばん）

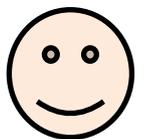
## ～阪谷地区の今～

### 第1号



最近、時代の流れにより地域でいろいろな問題が発生し、  
**このままでは住み続けていくことができない**という声を  
耳にするようになっていきます。

全国的にも少子高齢化とかよく聞くけど…  
実際に身近で何が起きているかはよくわからないなあ…



では、みなさんが知っているようで知らない**阪谷地区の今**  
を、いろんなデータをもとにみていきましょう。

#### 【第1号の内容】

##### 第1章 阪谷地区の少子高齢化とそれに伴う問題

- 阪谷の人口及び人口体系の変化
- 阪谷の集落行事（作業）の実情
- 阪谷地区の子育ての実情
- 阪谷地区の空き家、空き地の実情

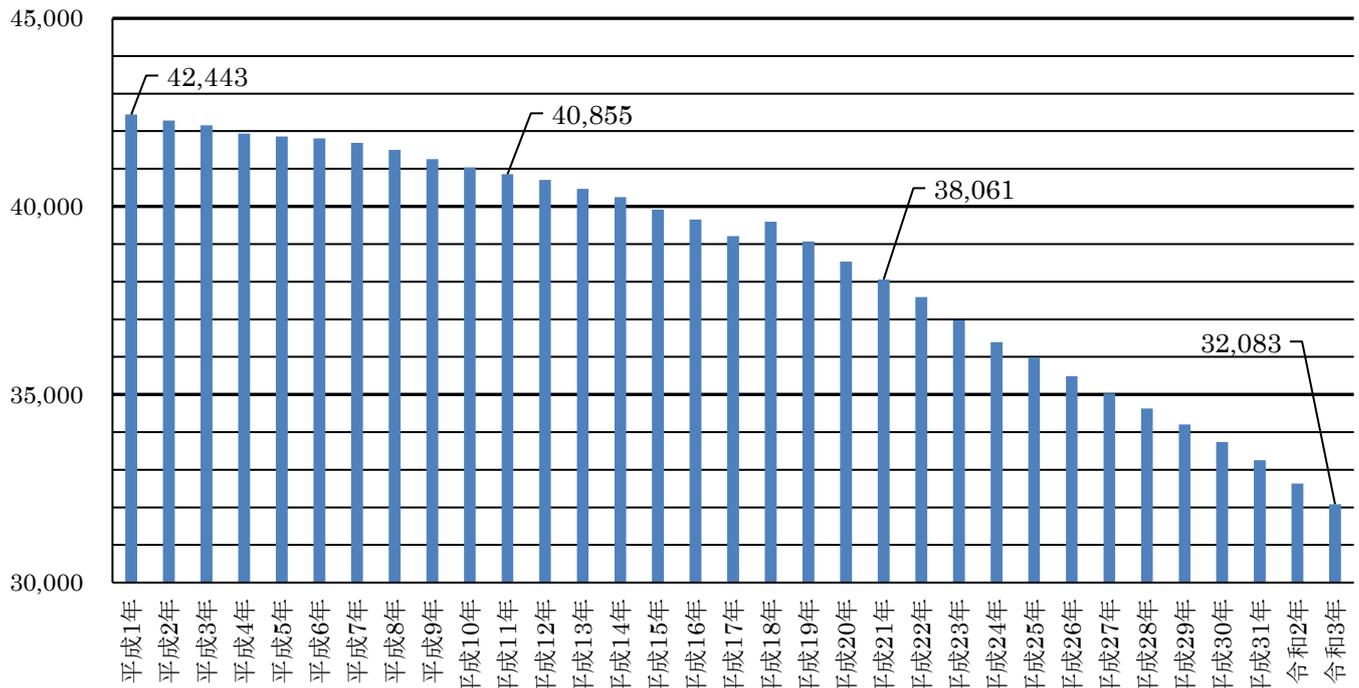
# 第1章 阪谷地区の少子高齢化とそれに伴う問題

## ～ 阪谷の人口及び人口体系の変化 ～

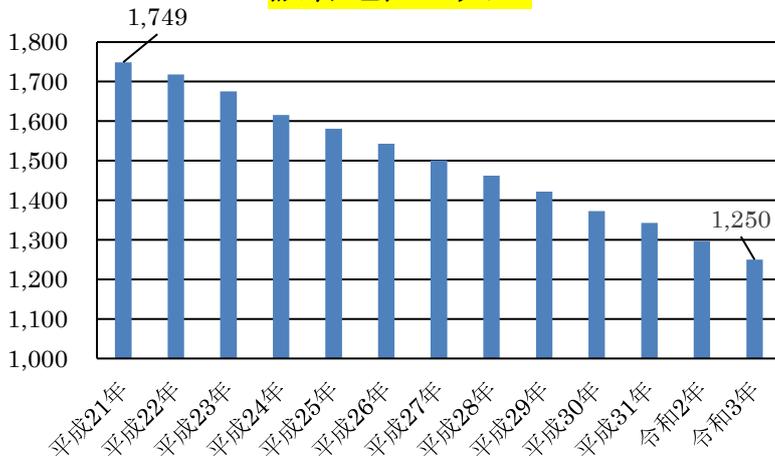


では、まずは、**阪谷地区の人口や世帯数**をみてみよう。

### 大野市の人口



### 阪谷地区の人口



令和3年の人口は  
平成21年と比較して…

大野市 84.29%  
阪谷地区 71.47%

過去10年間の人口増減数中の  
自然増減数(出生数-死亡数)の  
割合は…

大野市 約60%  
阪谷地区 約45%

### 自然増減数 (※出生数-死亡数)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
大野市	-241	-326	-283	-275	-255	-240	-289	-303	-284	-328	-391	-277
阪谷地区	-8	-29	-28	-25	-20	-12	-11	-13	-22	-24	-22	-16

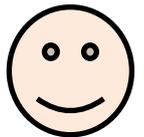
## 大野市の年代別人口割合

	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	令和2年	令和3年
～9才	7.46%	7.28%	7.14%	6.97%	6.95%	6.89%	6.92%	6.91%	6.84%	6.76%	6.63%	6.60%	6.57%
10代	9.75%	9.64%	9.51%	9.54%	9.27%	9.11%	8.88%	8.82%	8.76%	8.65%	8.63%	8.39%	8.21%
20代	10.52%	10.40%	10.07%	9.77%	9.62%	9.39%	9.14%	8.90%	8.73%	8.74%	8.52%	8.39%	8.21%
30代	10.51%	10.54%	10.59%	10.46%	10.55%	10.47%	10.29%	10.25%	10.10%	9.83%	9.64%	9.53%	9.14%
40代	11.11%	10.79%	10.77%	10.74%	10.75%	10.68%	10.85%	11.08%	11.39%	11.27%	11.47%	11.59%	11.80%
50代	14.98%	14.55%	14.24%	13.90%	13.46%	13.31%	13.11%	12.74%	12.50%	12.55%	12.28%	12.08%	12.04%
60代	13.65%	14.47%	14.85%	15.28%	15.71%	16.06%	16.39%	16.97%	17.11%	16.69%	16.37%	16.05%	15.71%
70代	12.68%	12.47%	12.58%	12.83%	12.79%	12.77%	12.70%	12.28%	12.23%	12.84%	13.70%	14.63%	15.05%
80代	7.88%	8.25%	8.44%	8.62%	8.93%	9.23%	9.46%	9.63%	9.79%	9.94%	9.80%	9.64%	9.97%
90代	1.42%	1.56%	1.74%	1.83%	1.92%	2.01%	2.18%	2.37%	2.50%	2.67%	2.88%	3.02%	3.21%
100歳～	0.04%	0.05%	0.05%	0.06%	0.06%	0.08%	0.07%	0.05%	0.05%	0.06%	0.07%	0.07%	0.08%

## 阪谷地区の年代別人口割合

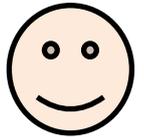
	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	令和2年	令和3年
～9才	5.32%	5.18%	5.67%	5.38%	5.25%	5.18%	4.86%	4.31%	4.36%	4.30%	4.02%	3.70%	3.84%
10代	8.86%	8.79%	7.46%	6.93%	6.89%	6.29%	6.00%	6.43%	6.05%	5.75%	5.88%	6.01%	5.76%
20代	12.12%	11.29%	11.34%	11.63%	10.75%	10.89%	10.39%	9.37%	8.65%	7.79%	7.45%	6.78%	6.32%
30代	7.83%	8.56%	9.19%	8.85%	9.74%	9.98%	9.46%	9.58%	9.35%	9.61%	10.05%	10.02%	8.96%
40代	9.26%	8.44%	8.18%	8.04%	7.91%	7.52%	7.46%	8.00%	8.30%	8.30%	8.56%	8.87%	9.36%
50代	18.12%	17.93%	17.55%	17.08%	16.45%	15.62%	15.39%	14.36%	13.71%	12.89%	11.69%	10.95%	10.80%
60代	12.01%	12.98%	13.85%	14.79%	15.94%	17.43%	19.12%	20.73%	21.59%	22.29%	22.71%	22.74%	22.40%
70代	16.01%	15.42%	15.04%	14.98%	14.17%	13.55%	11.86%	11.63%	11.67%	12.67%	13.78%	15.11%	16.48%
80代	9.78%	10.42%	10.33%	10.77%	11.32%	11.92%	13.32%	13.61%	13.50%	13.69%	12.81%	12.80%	12.96%
90代	0.69%	0.99%	1.37%	1.55%	1.52%	1.56%	2.07%	1.92%	2.81%	2.69%	3.05%	2.93%	3.04%
100歳～	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.06%	0.06%	0.07%	0.07%	0.00%	0.00%	0.00%	0.08%	0.08%

大野市全体でも阪谷地区でも人口は減ってきているね。  
でも、**阪谷地区の方が人口の減り方が大きい**ね。



そうだね。それにその減っている**原因が、自然増減の割合が小さい**のも特徴だね。

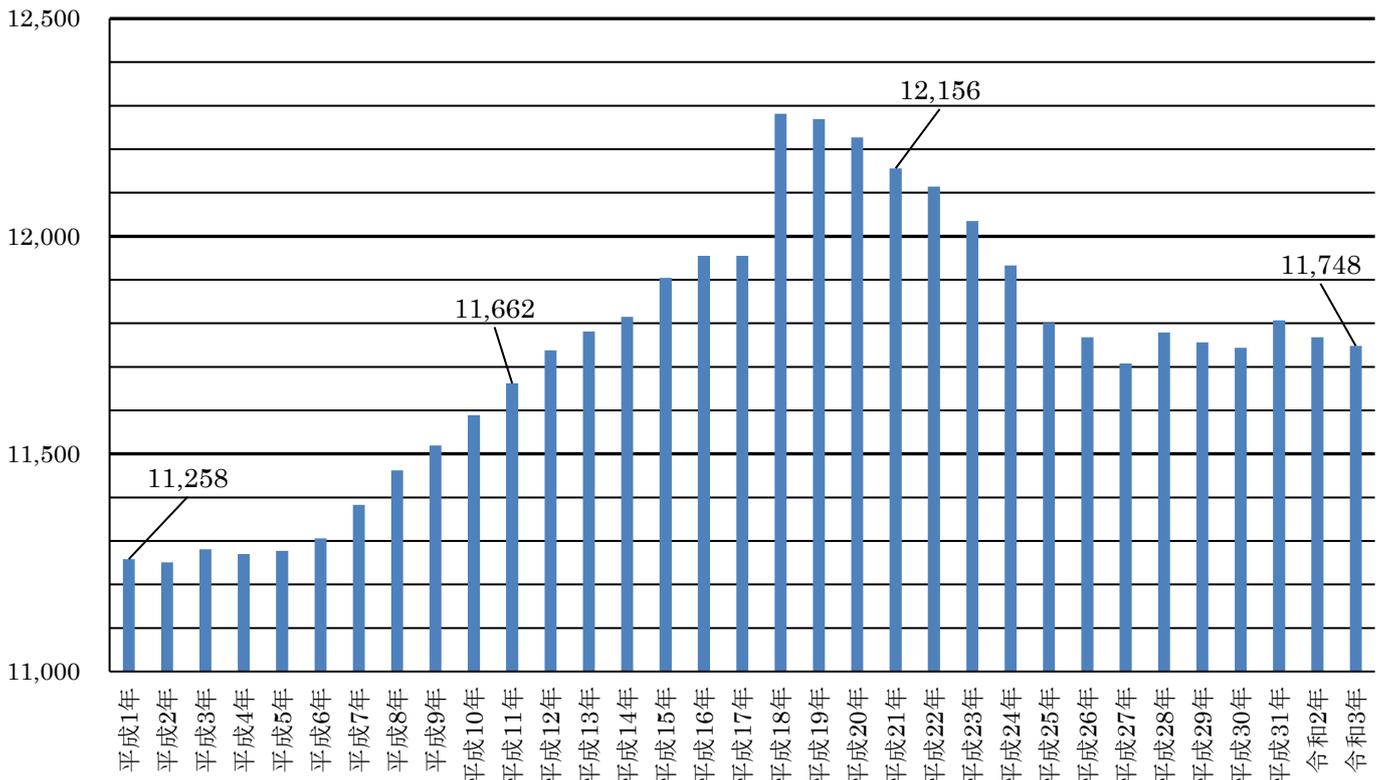
あと、年代別の割合をみると、どちらも**若い世代が少なく**  
**て高齢者の方の割合が多い**けど、**阪谷地区はさらにその傾向が大きい**ね。



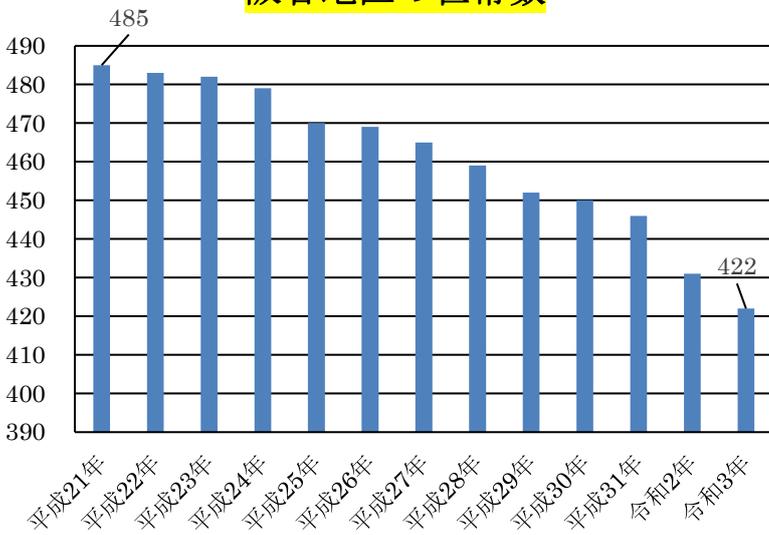
そうだね。経年変化をみても、**大野市全体と比べても阪谷地区の少子高齢化が進んでいる**のがわかるね。

では、次に世帯数とその内訳についてみてみよう。

## 大野市の世帯数



## 阪谷地区の世帯数



令和3年の世帯数は  
平成21年と比較して…

大野市 96.64%  
阪谷地区 87.01%

10年前と比べて、未成年者が同居する世帯数割合は…

大野市 6.3%減  
阪谷地区 10.8%減

10年前と比べて、65歳以上のみの世帯数割合は…

大野市 8.1%増  
阪谷地区 11.2%増

## 大野市の条件別世帯割合

	平成23年	令和3年
未成年者が同居する世帯数	28.55%	22.29%
65歳以上のみの世帯数	23.99%	32.09%
75歳以上のみの世帯数	12.82%	16.40%

## 阪谷地区の条件別世帯割合

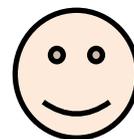
	平成23年	令和3年
未成年者が同居する世帯数	25.94%	15.17%
65歳以上のみの世帯数	25.73%	36.97%
75歳以上のみの世帯数	15.06%	18.01%



人口が減っても世帯数が減るとは限らないんだね。



人数は同じでも、近年は核家族化などで世帯が分かれて世帯数は増えたりもするからね。  
でも、**阪谷地区は世帯数も減少傾向**と言えるかな。



あと、大野市全体も阪谷地区も**未成年者が同居する世帯は少なくなっているし、高齢者のみの世帯数はとても多いし、増えてきている**ね。



そうだね。特に**阪谷地区はその進み具合が大野市全体と比べて大きい**のが心配される点だね。  
これらの傾向はこれからも進むと「大野市人口ビジョン」の中でも記載がされていて、このままだと大野市の定住人口は**令和27年には19,747人まで減少し**、年少人口割合の減少や老年人口割合の増加も進むものとされているよ。

次に、この少子高齢化が**地域のどんな問題と関係しているか**をみていこう。

## ～ 阪谷の集落行事（作業）の実情 ～



阪谷地区には18の区があって、それぞれの区で、そこに住むみなさんが助け合い協力し合って生活しているよ。  
主なものを下にも書いたけれど、これ以外にも、住みやすい地域を創るため、みんなで**いろいろな行事や作業**を行ったり、**団体活動**を行ったり、**役を担ったり**して生活しているよ。

### 各区の主な行事（作業）

【作業】 ※回数は各区の状況によってばらつきがありますので、目安の数字です。

- 公園等の草刈、清掃（年1～4回）
- 用水路等の清掃（年1～3回）
- 集落センター等の雪囲い設置等（年2回）
- ゴミステーションの清掃（月1～4回）
- 花壇整備（随時）
- 鳥獣害用の電気柵の設置等（年2回）
- 集落センター等の雪下ろし、除雪（随時）
- その他（山地下刈り、山道整備 など）

【行事】 ※回数は各区の状況によってばらつきがありますので、目安の数字です。

- 常会（毎月）、総会（年1回）
- 神社等祭り（年1～3回）
- 田休み（年1回）
- 新年会、忘年会（各年1回）
- その他（どんど焼き など）

## 阪谷地区内での主な団体（※阪谷地区団体連絡協議会 会員団体）

- ・ 阪谷地区区長会
- ・ 食育のふるさと阪谷をよくする会
- ・ 阪谷地区スポーツ協会
- ・ さくらんぼ愛育会
- ・ 阪谷地区忠魂碑奉賛会
- ・ 福寿会
- ・ 阪谷地区敬老会実行員会
- ・ 阪谷地区遺族会
- ・ 阪谷地区社会福祉協議会
- ・ 六呂師レーシング Jr.
- ・ 桃木峠の大杉保全協議会
- ・ 阪谷子育てクラブ
- ・ 赤十字奉仕団 阪谷分団

## 各区等での役割分担（役職）

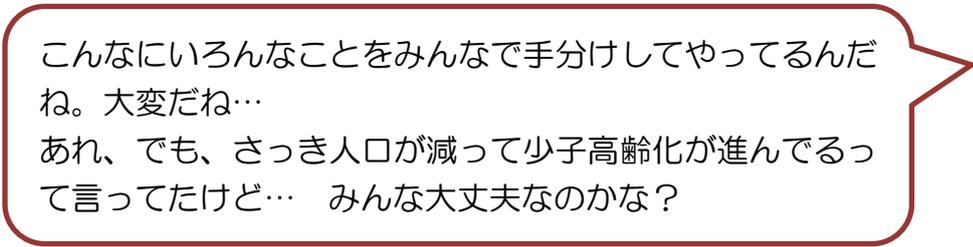
区長、副区長、会計、農家組合長、集落推進員（阪谷をよくする会）、阪谷地区スポーツ協会理事、福祉委員、分団長、消防団員、民生委員、土地改良区役員 など

## 各区の中での会の活動

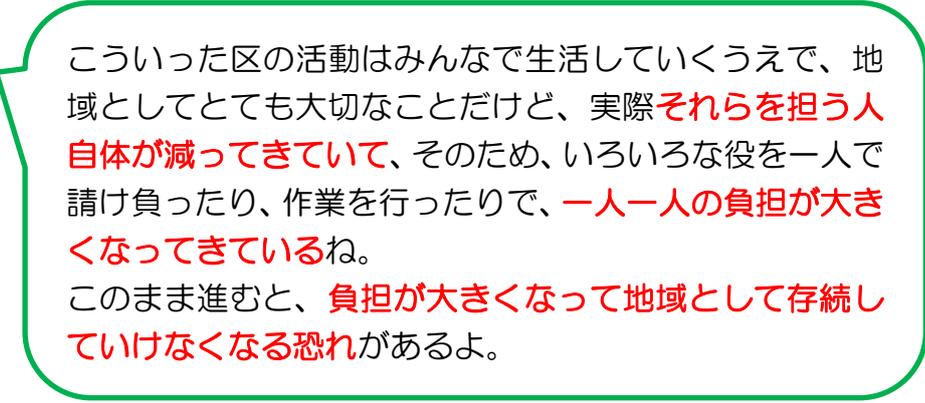
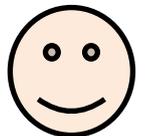
老人会、婦人会 など  
（※近年、壮年会、青年会、育成会、子ども会についてはない区の方が多い）

## 市の各種委員会から選出依頼の委員

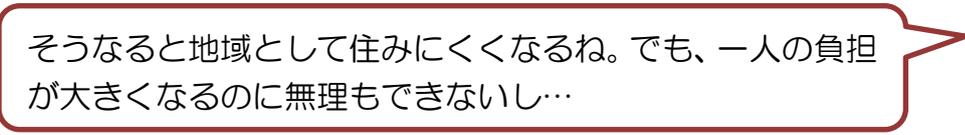
大野市緑化推進委員会委員、大野市鳥獣害対策協議会委員、大野市社会福祉協議会評議員、大野市環境監視員、大野市共同募金運営委員、大野市明るい選挙推進協議会委員 など



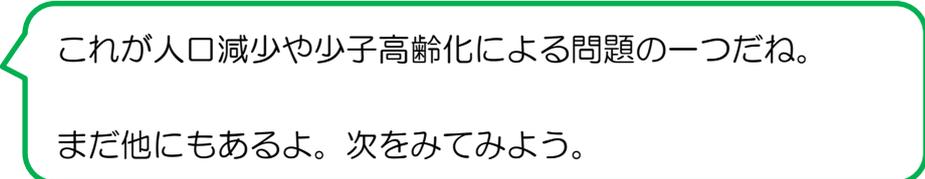
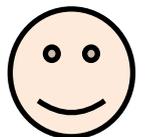
こんなにいろんなことをみんなで手分けしてやってるんだね。大変だね…  
あれ、でも、さっき人口が減って少子高齢化が進んでるって言ってたけど… みんな大丈夫なのかな？



こういった区の活動はみんなで生活していくうえで、地域としてとても大切なことだけど、実際 **それらを担う人自体が減ってきていて**、そのため、いろいろな役を一人で請け負ったり、作業を行ったりで、**一人一人の負担が大きくなってきている**ね。  
このまま進むと、**負担が大きくなって地域として存続していけなくなる恐れ**があるよ。



そうすると地域として住みにくくなるね。でも、一人の負担が大きくなるのに無理もできないし…



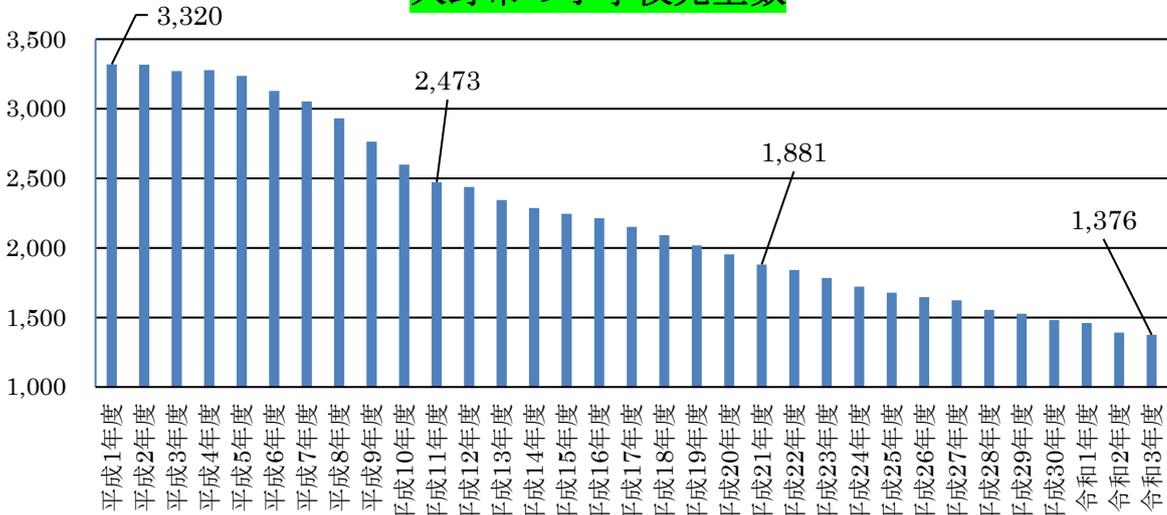
これが人口減少や少子高齢化による問題の一つだね。  
まだ他にもあるよ。次をみてみよう。

～ 阪谷地区の子育ての実情 ～

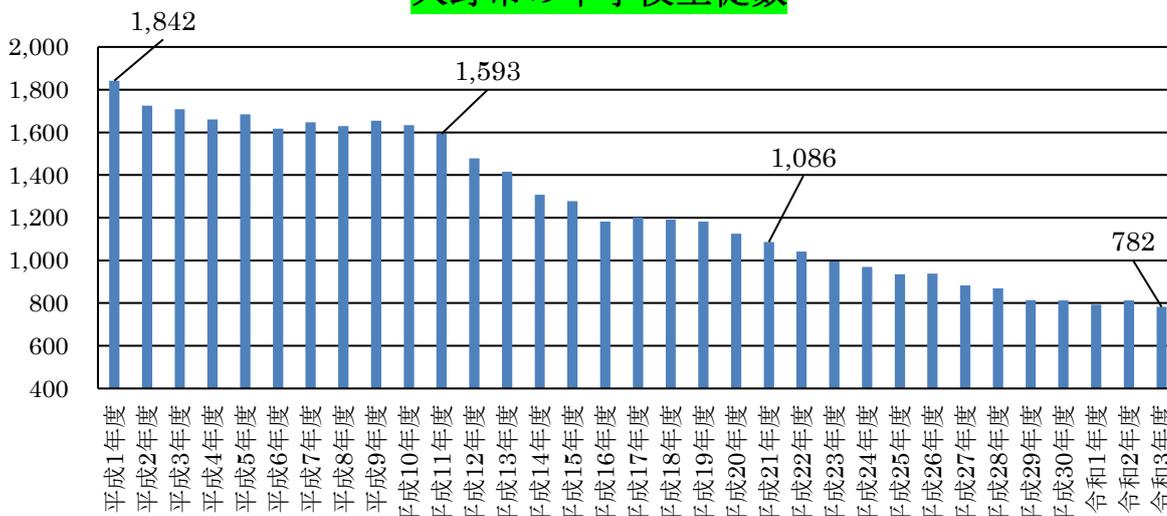


ここでは、まず学校に通う子どもについてみてみよう。

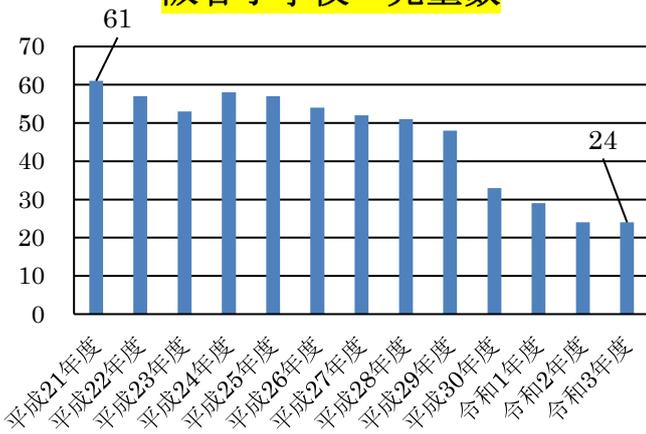
大野市の小学校児童数



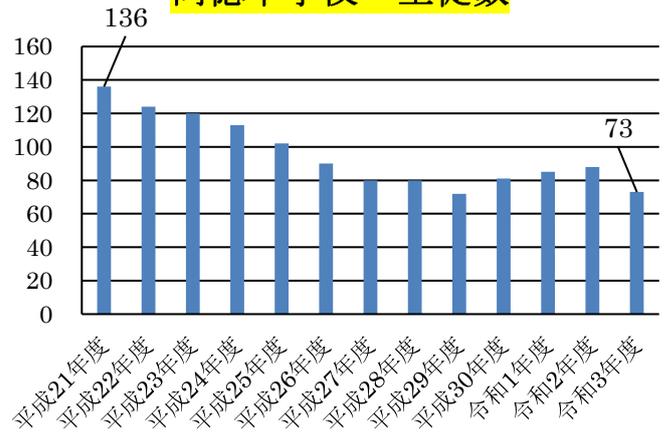
大野市の中学校生徒数



阪谷小学校 児童数



尚徳中学校 生徒数

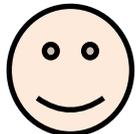


## 阪谷地区放課後子ども教室の登録率

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度
登録児童数	41	42	38	38	40	39	26	25	23	22
全校児童数	58	57	54	52	51	48	33	29	24	24
登録率	70.69%	73.68%	70.37%	73.08%	78.43%	81.25%	78.79%	86.21%	95.83%	91.67%

※放課後子ども教室とは…

放課後に安全で安心して仲間と遊べる居場所づくりを目的に、学校のある日の放課後、公民館で開催しています。



大野市全体でも生徒の数がすごく減ってきているけど、**阪谷地区の小学校や中学校でもすごく減ってきてる**ね。あと、**放課後子ども教室は、現在はほとんどの児童が利用**していて、学校が終わってからおうちの人が仕事など終わって迎えに来るまでの間、児童みんなが集まる場になっているんだね。**仕事をしながら子育てしていく環境**としては役立っているのかな。



生徒が少ないので、現在は、**阪谷小学校では2学年ずつの複式学級、尚徳中学校では、音楽、美術、技術、家庭科の教科で専門教科教員を配置できない状況**が続いていて、市ではこれらを解消し、最適な教育環境を整備するため、小中学校再編計画（案）を作成し取り組んでいるよ。計画（案）では、令和6年度に尚徳中学校は陽明中学校と統合、令和8年度に阪谷小学校は富田小学校と統合する計画（案）となっているよ。あと、放課後子ども教室については、**夏休みなど学校がない時**は開かれていないけど、その時は、**阪谷地区では「阪谷子育てクラブ」の人たちが子ども達を預かって見守ってくれている**よ。

次に学校に入る前の子どもについても見てみよう。

## 大野市の幼稚園の状況

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度
幼稚園数	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	6	6	5
園児数	74	84	91	81	66	53	39	40	35	38	0	0	0

※幼稚園数は休園中の施設を含みます。

※令和1年度から「大野幼稚園」は認定こども園として保育所等（下表）に含まれています。

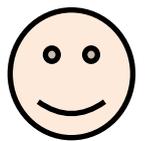
## 大野市の保育所等の状況

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度
保育所等数	14	14	14	13	13	13	13	13	12	13	14	14	14
入所児童数	1,020	1,046	1,039	1,016	1,007	990	998	1,053	1,073	1,046	1,049	1,025	962

## 阪谷保育園の園児数等

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度
園児数	14	14	17	17	21	19	14
定員数	20	20	20	20	20	20	20
入所率	70%	70%	85%	85%	105%	95%	70%

阪谷保育園では少人数でのびのびと子どもをみてもらえているみたいだね。



そのようだね。  
ただ、阪谷保育園の園児数は**令和1年度以降、減少傾向**にあるみたいだよ。

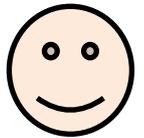
じゃあ、次の問題を見ていこう。

～ 阪谷の空き家、空き地の実情 ～



次は空き家、空き地の問題をみていこう。

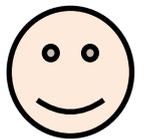
空き家、空き地って何が問題なの？  
あと、少子高齢化とどんな関係があるのかな？



空き家や空き地があっても、その持ち主がはっきりしていて、**持ち主によってきちんと管理されていけばいいんだけどね…**

もし、自分の隣の家が、持ち主がいなくなって、どんどんボロボロになって、今にも倒れてきそうになったらどう？

それは困るなあ。でも誰に言えばいいんだろう…



でしょ。**家や土地は個人の持ち物だし、勝手に何でもできない**しね。

それにこの持ち主がいなくなる状況にはいろいろあって、**単純に引っ越しで他の地域に移る時に、そのままほったらかしにして去って行ってしまうモラルの問題**によるケースもあれば、**高齢者のみの世帯で、介護施設などに入らざるをえなくなって、家や土地の世話ができなくなってしまう**ようなことで発生するケースも多くなってきているみたいだね。

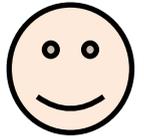
ここでは市で調査した空き家数のデータをみてみよう。

空き家数実態把握調査データ

		平成28年度 実態調査	令和3年度 実態調査	空き家等 増加数
大野市全体	調査数	679	1,306	—
	空き家等数	<b>528</b>	<b>827</b>	<b>299</b>
阪谷地区	調査数	50	124	—
	空き家等数	<b>39</b>	<b>94</b>	<b>55</b>

※調査は、住宅地図や聞き取りなどの方法で事前に空き家の可能性がある箇所をリストアップ（上記の「調査数」に該当）し、その箇所を現地踏査で確認し行っています。

大野市全体でも、阪谷地区でも増えてきているね。  
世帯数自体の減少はもちろん、高齢者だけの世帯の増加も  
空き家、空き地の発生の理由の一つにあるということは、  
このままだとこれからも空き家や空き地が増えていく可  
能性が高いってことだね…



データはそれぞれ実施した年で調査方法や調査数が異なるため、単純にこれだけの数が増えたとは言えないけど、増えているのは間違いないようだね。  
あと、空き家でも、持ち主がきちんと管理しているものもあれば、放置されているものもあるから、空き家の状態にもいろいろと差があるようだしね。  
空き家や空き地が発生する理由には、個人の理由もあるから、なかなか抑えるのは難しいと思われるけど、逆に家や土地を必要とする人がいたらその人に渡せるような仕組み作りも必要になってくるだろうね。



今回はここまでだよ！！  
次回も阪谷の今を知って  
いこうね！！

※さかずきんちゃん（阪谷地区マスコットキャラクター）



## 次回以降の予定 (※現時点の予定ですので内容等変更になった場合はご理解ください。)

### 第2号 令和4年1月下旬発行予定

#### 【内 容】 第2章 阪谷地区の働く場の実情

～ 阪谷地区の働く場の実情 ～

～ 阪谷地区の農業の実情 ～

～ 阪谷地区の観光業の実情 ～

### 第3号 令和4年4月下旬発行予定

#### 【内 容】 第3章 阪谷地区の生活環境

～ 阪谷地区の公共交通 ～

～ 阪谷の生活環境、災害と防災 ～

～ 阪谷地区の移住定住の実情 ～

#### ※各データの注釈

		データ提供等	各データ基準日等
P 1	大野市の人口	市 市民生活・統計課	毎年4月1日
	阪谷地区の人口	市 市民生活・統計課	毎年3月31日
	自然増減数	市 市民生活・統計課	年度毎
P 2	大野市の年代別人口割合	市 市民生活・統計課	毎年3月31日
	阪谷地区の年代別人口割合	市 市民生活・統計課	毎年3月31日
P 3	大野市の世帯数	市 市民生活・統計課	毎年4月1日
	阪谷地区の世帯数	市 市民生活・統計課	毎年3月31日
	大野市の条件別世帯割合	市 市民生活・統計課	毎年3月31日
	阪谷地区の条件別世帯割合	市 市民生活・統計課	毎年3月31日
P 4	各区の主な行事(作業)	阪谷地区区長会 協力	—
P 5	各区等での役割分担(役職)	阪谷地区区長会 協力	—
	各区の中での会の活動	阪谷地区区長会 協力	—
P 6	大野市の小学校児童数	市 教育総務課	毎年度5月1日
	大野市の中学校生徒数	市 教育総務課	毎年度5月1日
	阪谷小学校児童数	市 教育総務課	毎年度5月1日
	尚徳中学校生徒数	市 教育総務課	毎年度5月1日
P 7	阪谷地区放課後子ども教室登録率	市 生涯学習・文化財保護課	毎年度5月1日
P 8	大野市の幼稚園の状況	市 教育総務課	毎年度5月1日 (令和3年度のみ9月21日)
	大野市の保育所等の状況	市 こども支援課	毎年度5月1日
	阪谷保育園の園児数等	市 こども支援課	毎年度3月末 (令和3年度のみ8月時点)
P 9	空き家数実態把握調査データ	市 防災防犯課	それぞれ8月末調査実施